



『ヘルスケアやまと』のご提案

株式会社データホライゾン

現状把握

レセプト情報の活用による医療費分析

短期で効果のある施策

ジェネリック医薬品の使用促進通知

・生活習慣病等で長期にわたって服用し続けなければならない医薬品等について、切り替え可能なジェネリック医薬品の情報を被保険者に提供

【期待される効果】

- ①保健事業の実施の財源確保
- ②医療費の適正化 ⇒ 保険料率の引き上げの抑制

中長期で効果のある施策

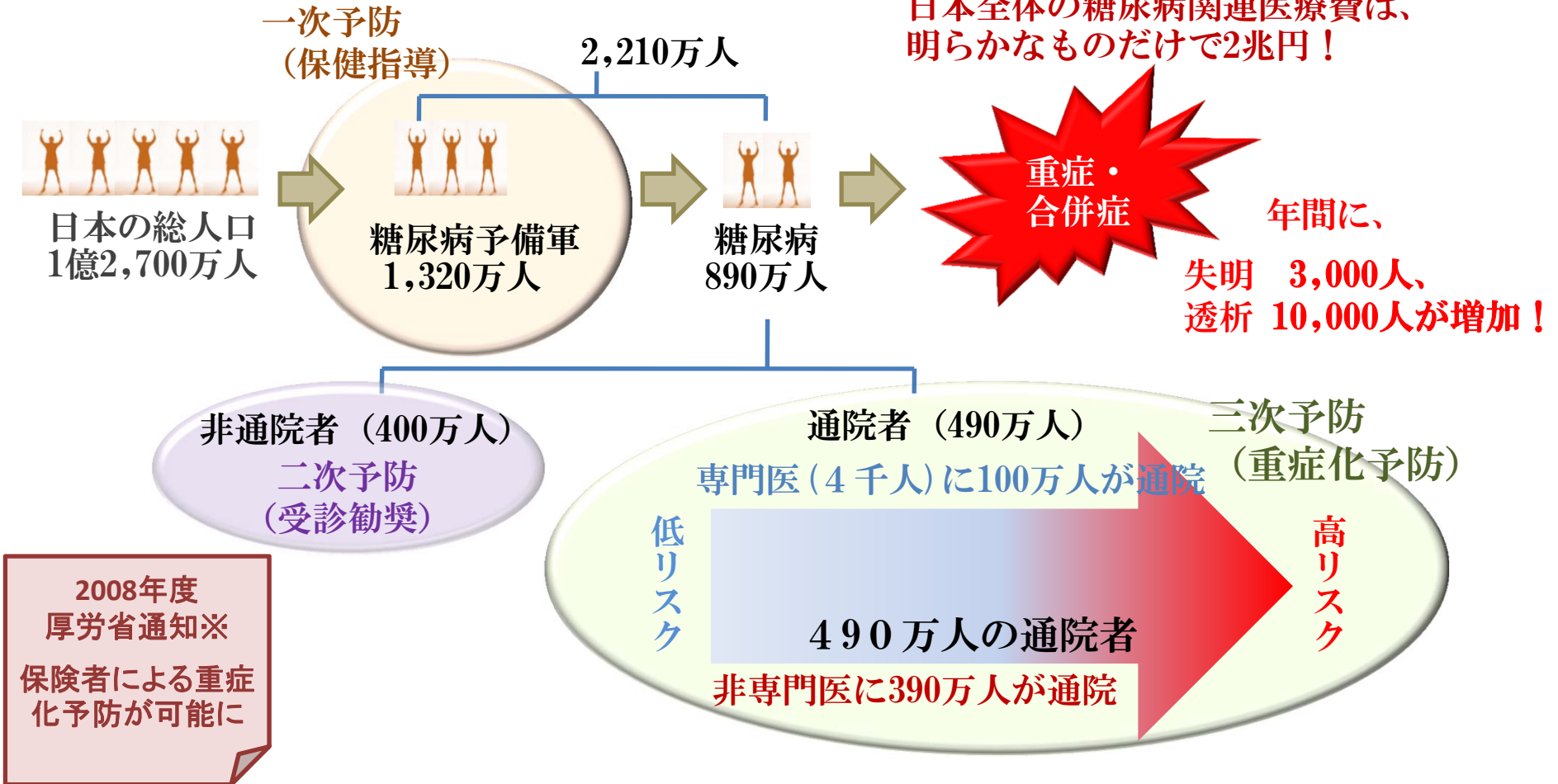
訪問指導・重症化予防など各種保健事業

1. 医療費の伸びが大きく、医療費が高額な疾病への対策
 - 糖尿病性腎症が重症化し人工透析に移行すると、1人当たりの年平均医療費は約500万円
→糖尿病の危険因子や腎機能障害が進行している人を早期に把握し、生活習慣病の危険因子の重複化や疾病の重症化を予防することが必要
2. 重複・頻回受診者、生活習慣病放置者等への適正受診に向けた訪問指導
3. 特定健診データとレセプト情報との参照による受診勧奨
4. 併用禁忌・回避医薬品処方情報の提供
※レセプト分析により各事業のPDCAサイクル(計画・行動・評価・改善)が可能

【日本における糖尿病の現状】

患者一人当たり年間医療費 数百万円～

日本全体の糖尿病関連医療費は、
明らかなものだけで2兆円！



(人数については、厚生労働省 平成19年度国民健康・栄養調査、平成14年度糖尿病実態調査より)

※「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針等の一部改正について」(2009年3月31日保発第0331013号)
「健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針等の一部改正について」(2009年3月31日保発第0331014～6号)

糖尿病早期腎症の重症化予防の効果

ステージ別年間医療費

患者数 約100人
医療費 約500万円/人/年
 $100人 \times 500万円 = 5億円$

25人

患者数 約240人
医療費 約50万円/人/年
 $240人 \times 50万円 = 1億2,000万円$

90人

患者数 約1,110人
医療費 約25万円/人/年
 $1,110人 \times 25万円 = 2億7,750万円$

240人

患者数 約15,000人
医療費 約5万円/人/年
 $15,000人 \times 5万円 = 7億5,000万円$

透析療法期(V)

腎不全期(IV)

指導対象

顕性腎症期(III)

早期腎症期(II)～合併症なし(I)

50人を指導した場合の効果

- ①指導完了者:44人
脱落・指導中止が6人
- ②生活習慣変容者:30人
生活習慣変容率は70%
 $44人 \times 70\% \div 30人$
- ③年度中の透析移行者:0人
透析に至る確率は10%

ステージ別年間医療費を見ればどこから手を打てばよいか明確

透析療法期(V)
年間総医療費:100人で5億円

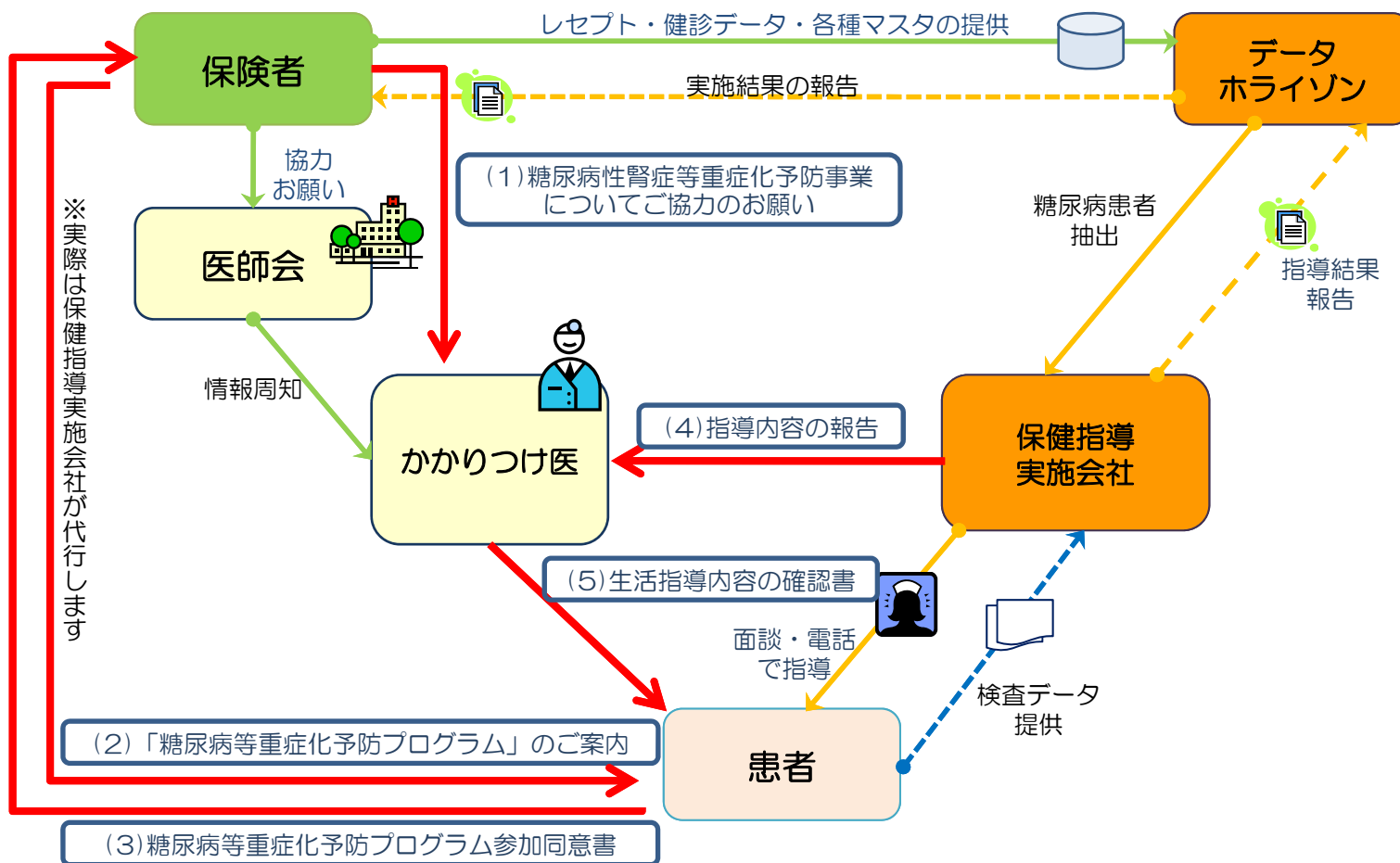
早期腎症期(II)～合併症なし(I)
年間総医療費:15,000人で7億5,000万円



1年間に重症化して次のステージに移行する人数

※重症化予防サービス事例におけるデータの10万人規模換算モデルケース(平成22年12月末分析値)

糖尿病重症化予防進め方

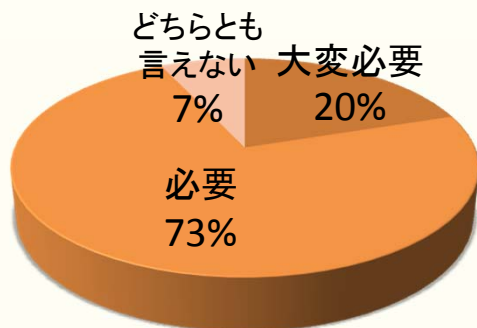


糖尿病性腎症重症化予防サービスアンケートの結果

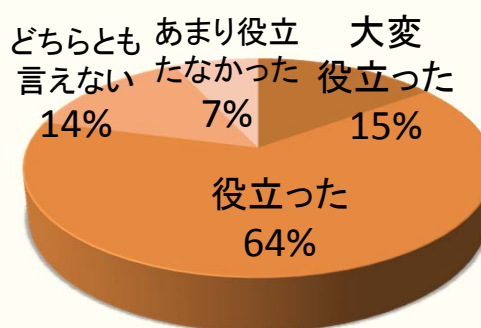
呉市の医療機関・患者の双方から高評価！

医療機関からの評価

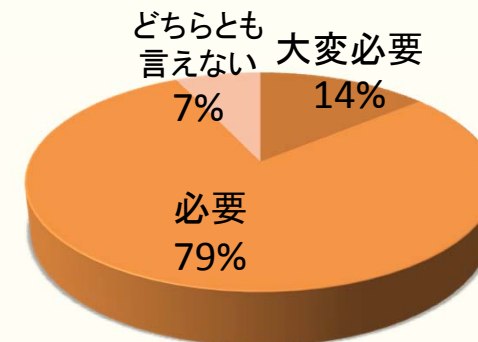
当プログラムは患者に必要だと思いますか？



当プログラムは診療に貢献しましたか？



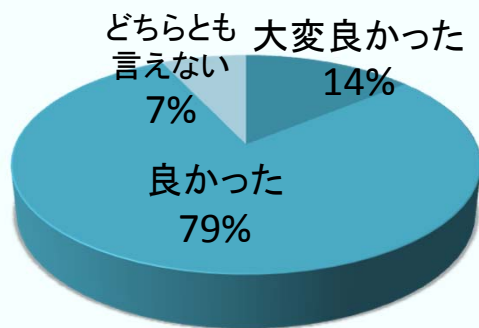
事業として必要と思いますか？



- ・多くの医師は患者にとってプログラムが「必要」と回答しており、プログラムの意義と実践を評価
- ・「血糖・血圧管理が不良で腎機能低下のリスクが高い対象者を抽出しプログラム開始する方がよい」などの意見も寄せられ、更なるプログラムの充実を求められている。
- ・看護師との連携は、64.3%の医師が良好であったことを評価

患者からの評価

当プログラムに参加してどうでしたか？



- ・「自分1人では閉じこもるので、看護師が定期的に連絡して相談してくれるのはよい。」「自分を見直すにも良い。」
- ・「記録を見てくださる人がいて、長続きできる。」
- ・「元気であるための日々の生活習慣についての動機づけ・意識づけが出来たことはとても良かった。」
- ・「腎臓の機能、検査結果の数値の意味及び健全な日常生活の必要性を改めて確認する事が出来た。」
- ・「無理のない範囲で一緒に目標設定をしてくれるのが励みになった。」
- ・「なかなか数値が良くならなくても辛抱強く一緒に考えてくれることが良かった。」

「ヘルスケアやまと」サービスの概要と呉市における実績

- フルアウトソーシングでサービスを提供します。
- 費用対効果の見える保健事業。

呉市の被保険者数

被保険者数:56,000人

サービス名	サービス概要	効果額・指導対象者数 ※
保健事業支援サービス	糖尿病重症化予防	指導実施定員 22年度 50名/年 23年度 70名/年 透析移行者: 0名
	受診勧奨指導	放置者受診勧奨 136名 治療中断者受診勧奨 330名
	頻回受診者指導	指導対象者数 187名 医療費削減額 1,400万円
	重複受診者指導	指導対象者数 15名 医療費削減額 125万円
	重複服薬対象者指導	指導対象者数 175名
	薬剤併用禁忌対象者抽出	情報提供対象件数 98件
ジェネリック医薬品通知	服用している薬をジェネリック医薬品に切り替えることを勧めるサービス	薬剤費削減額 1億1400万円/年
医療費分析	当該年度の保健事業の評価分析及び次年度の事業計画策定案をご提示するサービス	

※効果額・指導対象者数は呉市(被保険者数56,000人)の平成22・23年度実績より算出しています。

ジェネリック医薬品通知サービスにおける切替率の実績

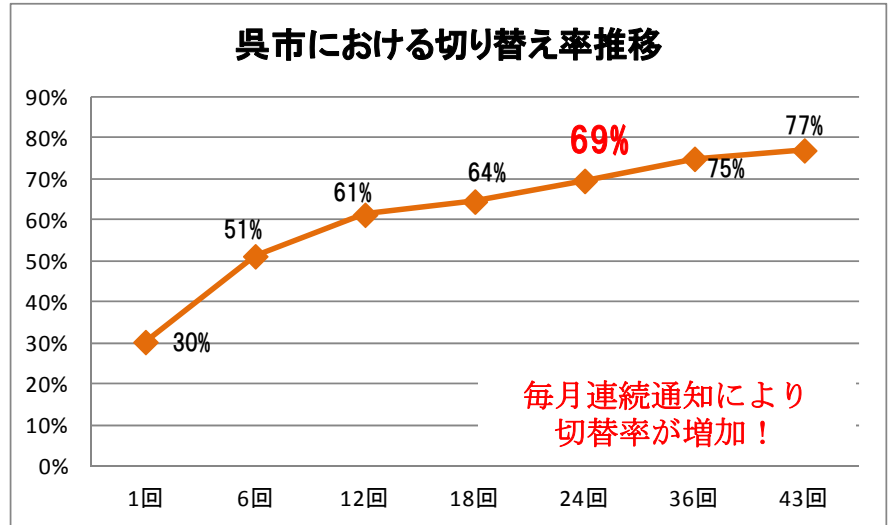
呉市における、平成20年7月から平成24年1月までの、累計切替者数の推移です。
呉市では、切替による効果の高いと思われる対象者約3,000人に毎月通知を行って来ました。

診療月	通知回数	累計通知者数	累計切替者数	切替率
平成20年7月	1回	2,970	897	30%
平成20年8月	2回	6,427	1,815	28%
平成20年9月	3回	9,594	2,862	30%
平成20年10月	4回	11,528	3,448	30%
平成20年11月	5回	11,772	5,496	47%
平成20年12月	6回	11,899	6,079	51%
平成21年1月	7回	11,978	6,520	54%
平成21年2月	8回	12,183	6,906	57%
平成21年3月	9回	12,405	7,299	59%
平成21年4月	10回	12,627	7,692	61%
平成21年5月	11回	12,849	8,085	63%
平成21年6月	12回	13,071	8,478	65%
平成21年7月	13回	13,293	8,871	67%
平成21年8月	14回	13,515	9,264	68%
平成21年9月	15回	13,737	9,657	70%
平成21年10月	16回	13,959	10,050	72%
平成21年11月	17回	14,181	10,443	74%
平成21年12月	18回	14,403	10,836	75%
平成22年1月	19回	17,152	11,176	65%
平成22年2月	20回	17,540	11,572	66%
平成22年3月	21回	17,940	12,015	67%
平成22年4月	22回	18,281	12,447	68%
平成22年5月	23回	18,637	12,790	69%
平成22年6月	24回	18,896	13,123	69%
平成22年7月	25回	19,250	13,445	70%
平成22年8月	26回	19,555	13,747	70%
平成22年9月	27回	19,909	14,057	71%
平成22年10月	28回	20,263	14,368	71%
平成22年11月	29回	20,617	14,679	71%
平成22年12月	30回	20,971	14,990	72%
平成23年1月	31回	21,325	15,301	72%
平成23年2月	32回	21,679	15,612	72%
平成23年3月	33回	22,033	15,923	72%
平成23年4月	34回	22,387	16,234	73%
平成23年5月	35回	22,741	16,545	73%
平成23年6月	36回	23,095	16,856	73%
平成23年7月	37回	23,449	17,167	73%
平成23年8月	38回	23,803	17,478	73%
平成23年9月	39回	24,157	17,789	74%
平成23年10月	40回	24,511	18,100	74%
平成23年11月	41回	23,069	17,602	76%
平成23年12月	42回	23,475	17,858	76%
平成24年1月	43回	23,475	18,044	77%

通知開始2年後には累計通知者の約70%が切替を行いました。

通知を継続する事により累計切替者数は増加しています

通知開始2年後(24回目の通知)には累計通知者の約70%が切替を行いました。現在では80%近くが切替を行っています。



年間薬剤費削減額
平成23年度実績
約1億2千万円
 (見込み)

※ 切替率: 累計切替者数 ÷ 累計通知者数

豊富な通知実績(2012年3月時点)

保険者	保険者数	被保険者数	レセプト 処理件数
健康保険組合	26組合	184万人	約78万件/月
国民健康保険	107保険者 (うち連合会6県)	160万人	約195万件/月
協会けんぽ	全国47支部	3,500万人	約1,432万件/年
後期高齢者医療 広域連合	3広域連合	39万人	約75万件

豊富な実績と経験から、高品質なジェネリック医薬品差額通知事業をご提供いたします。